~~~~~ ○ ~~~~~
午前11時00分 開議

○議長（松本英隆君）

ただいまの出席議員数は12人です。定足数に達していますので、ただいまから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、発言の取り消しについてを議題とします。

お手元に配付のとおり、9月10日の議案質疑における町長の答弁について発言取消申出書が提出されました。

お諮りします。

[「暫時休憩お願いします」の声あり]

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~
午前11時00分 休憩

午前11時02分 再開
~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

ここでお諮りします。

発言取消申出書のとおりこれを許可することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、町長からの発言取り消しの申し出を許可することに決定いたしました。

日程第2、議案第33号から日程第7、議案第38号までを一括議題とします。

議案第33号から議案第38号について、予算決算常任委員長から報告を求めます。

○予算決算常任委員長（若山照洋君）

予算決算常任委員会に付託されました事件の結果について、会議規則第41条の規定により御報告いたします。

去る9月10日の本会議において当委員会に審査を付託されました議案につきましては、9月12日に総務建設分科会、9月13日に文教厚生分科会を開いて審査を行い、本日委員会の全体会を開き、各分科会委員長の審査報告を受けました。

その結果、議案第33号、34号、36号、37号の4議案につきましては賛成多数で認定すべきものと決定しました。

議案第35号、38号の2議案につきましては全員賛成で認定すべきものと決定いたしました。

また、9月10日本会議終了後に全委員で決算審査に関わる現地調査を行いました。以上で報告を終わります。

○議長（松本英隆君）

以上で委員長報告を終わります。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

まず、議案第33号令和5年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫でございます。議案第33号令和5年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定に反対します。

当初予算の討論でも指摘しましたが、小中学校給食費の補助を令和4年度から減らし、保護者の負担をふやしました。私は給食費の無償化を求めています、少なくともこの物価高の中、保護者負担をふやすべきではありませんでした。また、国民健康保険特別会計の財政が逼迫している中で、一般会計に約5100万円の繰り入れを行っています。国民健康保険特別会計に残しておくべきでした。よって、議案第33号令和5年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定に反対します。以上です。

○議長（松本英隆君）

続いて、原案に賛成の方の討論を許します。

3番手嶋いずみ議員。

○3番（手嶋いずみ君）

3番手嶋いずみです。議案第33号令和5年度大治町一般会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場で討論を行います。

一般会計歳入歳出決算は多世代交流事業として令和5年8月に多世代交流センターがオープンし、子供から高齢者まで世代を超えた町民の交流の場としての活用が図られております。

また、子ども医療費は令和5年10月より支給対象者の年齢の拡充がありました。高齢者の介護予防の推進を目的として健康遊具を設置する健康公園の整備も進められており、町民の健康保持・増進に対して取り組まれています。

災害対策としては大規模災害に備えた砂子防災公園の整備が進められており、避難所案内看板や備蓄倉庫の設置、ソーラーパネルの購入により防災体制の充実が図られています。

また、原油価格や物価高騰などの経済情勢を踏まえ、大治町商品券交付事業や障害・介護・保育施設等物価高騰対策支援事業、小中学校給食費補助金の支給など町民や町内事業者の負担軽減のための支援が行われています。これらの事業推進のための財源は適切に国・県の補助金を活用し、また計画的な起債により確保されており、いずれも適切な措置でありますので私はこの案件に賛成するものであります。皆様の御賛同をお願いいたします。

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第33号を採決します。

本案に対する委員長報告は認定であります。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 10名]

○議長（松本英隆君）

起立多数です。したがって、議案第33号は委員長報告のとおり認定されました。

議案第34号令和5年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫でございます。議案第34号令和5年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。

国民健康保険税の実際の収納率と県が求める収納率の乖離がとても大きく、財政が逼迫していることが明らかになりました。このままでは来年度の国民健康保険税の大幅な値上げは避けられません。ならばこそ、一般会計から国民健康保険特別会計に一度繰り入れた繰入金を一般会計に繰り出さず、国民健康保険支払準備基金に積み立てておくべきでした。よって議案第34号令和5年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。以上です。

○議長（松本英隆君）

続いて、原案に賛成の方の討論を許します。

7番三輪明広議員。

○7番（三輪明広君）

7番三輪明広です。議案第34号令和5年度大治町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場から討論を行います。

現在、国民健康保険は県が財政運営の責任主体として中心的な役割を担い、市町村は地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課、徴収、保険業務など地域におけるきめ細かい事業を行っております。また、出産育児金の支給方法についても法令、条例に基づきながら適切に支出されており、大治町の国民健康保険制度は適正な運営が行われております。令和5年度の決算においても会計は適正に処理されておりますので、私はこの決算の認定に賛成するものです。皆様の御賛同をよろしくお願いいたします。以上です。

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第34号を採決します。

本案に対する委員長報告は認定であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 10名]

○議長（松本英隆君）

起立多数です。したがって、議案第34号は委員長報告のとおり認定されました。

続いて、議案第35号令和5年度大治町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第35号を採決します。

本案に対する委員長報告は認定であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第35号は委員長報告のとおり認定されました。

議案第36号令和5年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を

行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫君です。議案第36号令和5年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。

国も介護給付費準備基金は取り崩して、保険料の上昇抑制に充てるべきとはっきり言っています。しかしながら本町では令和3年度から5年度の3年間で約1億2600万円取り崩す予定でしたが、実際は取り崩すどころか約9855万円も積み増しています。保険料が余りにも高すぎたのです。よって議案第36号令和5年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。以上です。

○議長（松本英隆君）

続いて、原案に賛成の方の討論を許します。

2番八神議員。

○2番（八神太紀君）

2番八神太紀です。議案第36号令和5年度大治町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場で討論させていただきます。

保険事業勘定においては歳入では負担割合に基づく、国、支払基金、県及び町の負担金がそれぞれ適正に確保されており、歳出につきましても介護給付費及び地域支援事業費が適正に使われていると思います。また、介護給付費準備基金については、当初予算では取り崩す予定でありましたが、取り崩すことなく最終的には積み立てができたので、今後も安定的な介護保険事業を行うために貴重な財源として適正に運営されることを望みます。

次に、介護サービス事業勘定においてはデイサービス事業所の廃止後における会計処理が適正にされております。よってこの決算の認定について賛成いたします。

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第36号を採決します。

本案に対する委員長報告は認定であります。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 10名]

○議長（松本英隆君）

起立多数です。したがって、議案第36号は委員長報告のとおり認定されました。

議案第37号令和5年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、

討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫君でございます。議案第37号令和5年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。

平成20年度から75歳以上の方だけを対象に後期高齢者医療制度が発足しました。後期高齢者の方の主な収入は年金であり、その年金も年々目減りしていく中で保険料はだんだんと上がっています。また、令和4年10月から現役並み所得者とみなされた方の2割負担が導入され、ますます負担が重くなっています。よって議案第37号令和5年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に反対します。以上です。

○議長（松本英隆君）

続いて、原案に賛成の方の討論を許します。

7番三輪明広議員。

○7番（三輪明広君）

7番三輪明広です。議案第37号令和5年度大治町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場から討論を行います。

後期高齢者医療制度は高齢者の方々が安心して医療が受けられるための医療制度であり、都道府県単位として全市町村が加入する広域連合の制度として実施しているものです。大治町においては、個別健康診査や人間ドック、脳ドック受診料の一部助成など健康づくりの事業も適正に行われております。制度に反対であるならば対案を提出すべきであると考えます。なお、令和5年度の決算においては会計は適正に処理されておりますので、私はこの決算の認定に賛成するものです。皆様の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第37号を採決します。

本案に対する委員長報告は認定であります。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 10名]

○議長（松本英隆君）

起立多数です。したがって、議案第37号は委員長報告のとおり認定されました。

続いて、議案第38号令和5年度大治町下水道事業会計決算の認定について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

[「なし」の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第38号を採決します。

本案に対する委員長報告は認定であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第38号は委員長報告のとおり認定されました。

日程第8、議案第39号から日程第15、議案第48号までを一括議題とします。

初めに、議案第39号、46号、続いて、40号から議案第43号、議案第47号及び48号について予算決算常任委員長から報告を求めます。

予算決算常任委員長。

○予算決算常任委員長（若山照洋君）

議案第39号から議案第48号の8議案について御報告申し上げます。

議案第39号から議案第48号の8議案につきましては、全員賛成で可決すべきものと決定いたしました。

また、9月10日本会議終了後に全委員で補正予算に関する現地調査を行いました。以上で報告を終わります。

○議長（松本英隆君）

以上で委員長報告を終わります。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

まず議案第39号令和6年度大治町一般会計補正予算（第3号）について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

[「なし」の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第39号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第39号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第46号令和6年度大治町一般会計補正予算（第4号）について、討論を行います。初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第46号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第46号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第40号令和6年度大治町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第40号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第40号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第41号令和6年度大治町介護保険特別会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第41号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第41号は委員長報告のとおり可決されました。

続きまして、議案第42号令和6年度大治町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第42号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第42号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第43号令和6年度大治町下水道事業会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第43号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第43号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第47号物品購入契約について（追認）の討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第47号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立 全員〕

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第47号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第48号物品購入契約について（追認）の討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第48号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立 全員〕

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第48号は委員長報告のとおり可決されました。

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時25分 休憩

午前11時25分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第16、議案第44号大治町国民健康保険条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

議案第44号について文教厚生常任委員長から報告を求めます。

文教厚生常任委員長。

○文教厚生常任委員長（三輪明広君）

文教厚生常任委員会は9月13日に開会しました。本委員会に付託されました事件は審査の結果、次のとおり決定しましたので会議規則第41条の規定により御報告申し上げます。

議案第44号大治町国民健康保険条例の一部を改正する条例については、全員賛成にて可決すべきものと決定しました。

主な質疑の内容を御報告申し上げます。被保険者証の返還請求を起こした際、紛失していた場合はどうなるのかとの問いに、保険料の納付をしない場合は返還請求するが、その時点で保険証がない場合は返還すべきない状態として認識するとの答弁でした。以上で御報告終わります。

○議長（松本英隆君）

以上で委員長報告を終わります。

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

[「なし」の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第44号を採決します。

本案に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第44号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第17、議案第45号物品購入契約についてを議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長(村上昌生君)

議案第45号物品購入契約について。

令和6年7月26日、指名競争入札に付した大治町スポーツセンター移動式バスケット

ゴール設置事業について、左記のとおり購入契約を締結するため大治町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求める。令和6年9月4日提出、大治町長。

本件の大治町スポーツセンター移動式バスケットゴール設置事業の契約は、契約金額957万円で、株式会社永和商会と契約を締結するものです。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫でございます。この議案は最終日上程で議案説明がなかったと思いますので、ちょっと詳しくお聞きしたいんですが、スポーツセンター、バスケットボールのコートはもともとあると思うんですが、移動式を新たに設置する理由というか、今までとどう違うのか。説明をお願いいたします。

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時30分 休憩

午前11時32分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

他に質疑はございませんか。

吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫でございます。1社辞退ということで、これは以前も辞退とかいうことあったと思うんですが、理由がわかればですし、わからないにしてもどのような状況が辞退ということになるのか、もう少し契約のことで詳しくお教えてください。

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時33分 休憩

午前11時34分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

吉原さん、業者のほうから直接理由は聞いていないので、辞退の理由はわからないと思います。よろしいですか。

他に質疑はございませんか。

11番吉原議員、3回目です。

○11番（吉原経夫君）

システム的なことはあんまり僕もわからないのでこの場でお聞きしたいんですが、入札に申し込む、ある日にちを決めてそのときに幾らっていうのをに入れて、その場に来なかった、もしくは行きませんって連絡があった。そういうのが辞退かなと思うんですが、そのうえで開札、何日後かその場かわかりませんが、それでやっていくと思うんですが、この入札の日程的なことを教えていただきたいと思います。

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時35分 休憩

午前11時38分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

吉原さん、答弁のほうはOKということでもいいですね。

他に質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっております議案第45号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっております、議案第45号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第45号を採決します。

議案第45号を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第45号は可決されました。

日程第18、同意議案第2号教育委員会委員の任命についてを議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（村上昌生君）

同意議案第2号教育委員会委員の任命について。

大治町教育委員会委員に次の者を任命したいので、同意を求める。令和6年9月4日提出、大治町長。

この案を提出するのは、杉戸江泉委員の任期が令和6年9月30日をもって満了することに伴い、引き続き委員に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、同意を求めるものでございます。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

[[なし]の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっております同意議案第2号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[[異議なし]の声あり]

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっております、同意議案第2号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

[[なし]の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから同意議案第2号を採決します。

同意議案第2号は原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、同意議案第2号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第19、同意議案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（村上昌生君）

同意議案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任について。大治町固定資産評価審査委員会委員に次のものを選任したいので、同意を求める。令和6年9月4日提出、大治町長。

この案を提出するのは、野間祐司委員の任期が、令和6年12月26日をもって満了することに伴い、引き続き、委員に選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、同意を求めるものでございます。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

[[なし]の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっています同意議案第3号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[[異議なし]の声あり]

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっています、同意議案第3号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

まず、原案に反対の方の発言を許します。

[「なし」の声あり]

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから同意議案第3号を採決します。

同意議案第3号は原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、同意議案第3号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時43分 休憩

午前11時48分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第20、発議第1号日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出についてを議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

7番三輪明広議員。

○7番（三輪明広君）

7番三輪明広です。発議第1号日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出について。上記の意見書案を別紙のとおり会議規則第14条1項及び第2項の規定により、提出する。令和6年9月4日提出、提出者大治町議会議員三輪明広。

要約して議案説明をいたします。広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経て2017年7月7日、核兵器禁止条約が採択されました。同年9月20日には同条約への調印・批准・参加が開始され、2021年1月22日に発行しました。核兵器禁止条約は開発、生産、実験、製造、所持、保有、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで核兵器に係るあらゆる活動を禁止しています。2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領はウクライナへの軍事侵略に合わせて核兵器による威嚇を行いました。その後も繰り返し核兵器の脅迫を行いながら侵略を続けています。これは核兵器使用、威嚇を禁じた核兵器禁止条約に明確に違反するものでございます。広島、長崎の原爆被害を体験した日本は核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立てなければなりません。核兵

器禁止条約に参加・調印・批准することを求めるものです。提出先、内閣総理大臣、外務大臣、以上です。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっています発議第1号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっています、発議第1号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから発議第1号を採決します。

発議第1号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立 10名〕

○議長（松本英隆君）

起立多数です。したがって、発議第1号は可決されました。

日程第21、発議第2号……

〔「暫時休憩をお願いします」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時53分 休憩

午前11時53分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第21、発議第2号ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出についてを議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

6番鈴木 満議員。

○6番（鈴木 満君）

6番鈴木 満でございます。発議第2号ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書。2023年10月7日のハマスによるイスラエルの大規模攻撃及び人質事件に対し、イスラエルによる報復措置が始まりました。これは一般市民という定義を無視し、国際人道法にあらゆる基準に違反し、現在も続いております。既に33,000人以上が犠牲になり、このうち14,000人が子供という異常な状況です。今すぐ一般市民の犠牲をとめるべく、停戦の呼びかけ、負傷者や難民の救済は道徳的義務として必然であると思います。世界でも停戦を求める声が高まっていることから、当事者全ての関係各国、国際機関が人道的休戦に向けて同心協力し、全力で外交努力を行い、即時停戦の国際世論を高めるために行動することが強く求められています。よって政府におかれましてはガザ地区の危機的現実を直視し、即時停戦、休戦を働きかける外交努力を行うことを求め、強く要望します。以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出する。提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、以上です。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時56分 休憩

午前11時57分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

6番鈴木 満議員、どうぞ。

○6番（鈴木 満君）

大変失礼いたしました。提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣です。以上です。

○議長（松本英隆君）

これに対して質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっています発議第2号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっています、発議第2号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから発議第2号を採決します。

発議第2号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立 全員〕

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、発議第2号は可決されました。

日程第22、発議第3号義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出についてを議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

7番三輪明広議員。

○7番（三輪明広君）

7番三輪明広です。発議第3号義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について。

上記の意見書案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出する。令和6年9月4日提出、大治町議会議員三輪明広。

要約して提案説明をいたします。未来を担う子供たちが夢や希望を持ち、健やかに成長していくことは全ての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子供たちの健

全育成に向けて日々真摯に教育活動に取り組んでいるものの、いじめや不登校など子供たちを取り巻く教育課題は依然として解決されていない。また、特別な支援や日本語教育を必要とする子供が多く、一人一人に応じた適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。本年度は政府予算において小学校における高学年の教科担任制の強化及び35人学級の基本的な整備などのための教職員定数改善が上げられていました。しかし、中学校における少人数学級の推進や教職員の定数改善計画は示されておらず、子供たちの健やかな成長を支えるための施策としては不十分なものであると言わざるを得ない。子供たちが全国どこに住んでいても、均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されている。教育の均等と水準確保のために義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率の2分の1へと復元することは国がしなければならない大きな責任の一つである。よって貴職においては来年度の政府予算編成にあたり、国庫負担率2分の1への復元に向けて十分な教育予算を確保するように強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。提出先、内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣。以上です。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっています発議第3号は会議規則第39条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっています、発議第3号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから発議第3号を採決します。

発議第3号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、発議第3号は可決されました。

日程第23、発議第4号国の私学助成の拡充に関する意見書の提出についてを議題とします。提出者から提案理由の説明を求めます。

○4番（後藤田麻美子君）

議長。

○議長（松本英隆君）

4番後藤田麻美子議員。

○4番（後藤田麻美子君）

4番後藤田麻美子でございます。発議第4号国の私学助成の拡充に関する意見書の提出について。

上記の意見書案を別紙のとおり会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出する。令和6年9月4日提出、提出者大治町議会議員後藤田麻美子。

私立学校は国公立学校と共に教育の場として重要な役割を担っており、国においても昭和50年に学費の公私是正を目的とした私立学校振興助成法を制定し、各種是正措置を講じられてきた。国のこれまでの私学助成政策は着実に成果を生んでいるが、年収910万未満世帯まで無償化され、それ以上の家庭でも年間約12万で通うことのできる公立学校と比べて、私立高校生にはまだ大きな学費負担が残されている。よって、当議会は政府に対し、国の責務と私学の重要性を鑑み、父母負担の公私格差を是正するために就学支援金を一層拡充するとともに、私立学校振興助成法に基づく国庫助成制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図るように強く要望するものです。提出先、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣。以上です。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっております発議第4号は会議規則第39条第3項の規定により、委員

会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔異議なし〕の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっています、発議第4号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

初めに、原案に反対の方の発言を許します。

5番鈴木康友議員。

○5番（鈴木康友君）

5番鈴木康友です。国の私学助成の拡充に関する意見書の提出について反対の立場から討論をさせていただきます。

私立は独自の教育が可能であり、公立高校とは設立や運営の意義が異なるものであります。一人当たりの教育費用を考えた場合、私立高校と公立高校を比較した場合、私立高校の生徒のほうが多くの予算や設備的優遇を享受していることが一般であると考えられます。また、少子化は極めて切迫しており、私立、公立高校ともに苦しい運営事情等であると考えられるが、補助の拡充により財政が脆弱な公立高校への補助を行うことで、今後ますます厳しくなるであろう公立高校の環境改善を図ることがより優先と考えます。また、父母負担を鑑みた場合、負担が大きい方々には奨学金制度の拡充など他にとれる方法の模索は必要と考えますが、前述のとおり教育水準の公平性の点から鑑みた場合、私立高校に国庫負担の拡充をすることはかえって私立と公立学校の格差が生じるとも考えられるため、この意見書提出に反対いたします。皆様の御賛同をよろしく願います。

○議長（松本英隆君）

続いて、原案に賛成の方の討論を許します。

8番若山照洋議員。

○8番（若山照洋君）

8番若山照洋です。賛成の立場で討論させていただきます。

父母負担の公私格差の是正により、進学先の選択肢がふえると思われ、格差を是正したからといって私学の教育の独自性が失われるとは考えられません。公立高校、私立高校どちらの高校に通っても同じ高校生です。格差をなくし、いろいろな選択ができる教育を目指すためにも私は賛成する立場でいます。

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから発議第4号を採決します。

発議第4号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 10名]

○議長（松本英隆君）

起立多数です。したがって、発議第4号は可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しましたので会議を閉じます。

これで令和6年9月大治町議会定例会を閉会いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後0時11分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員